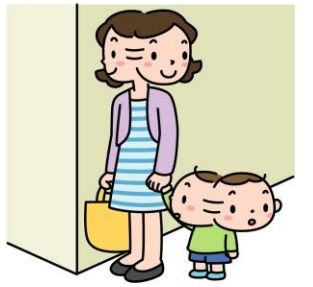




交通指導(にじ組)



R5. 11. 16(木)

ぼくのなまえは、「まもるんだ」だよ。

今日は、交通指導がありました。就学前の虹組のみが参加し、横断歩道の渡り方や道路の歩き方の練習をしました。



「ストップマーク」

おうだんほどうのてまえなどにあります。とまって、しっかりあせんとにかくにんしましょう。

「ガードレール」

ガードレールを、またいだり、くぐったりして、とおってはいけません。



「おうだんほどう」
ここには、おうだんほどうがあります。

横断歩道から一步下がって、止まりましょう。車道に近すぎると、危ないです。

ここは、信号がある横断歩道。

「青信号」になっても、必ず手をあげて「みぎ・ひだり・みぎ」自分の目で確認します。渡っている途中で青信号が、チカチカになった時は、走らないで「急ぎ足(早歩き)」で渡りましょう。

「信号のない横断歩道」では…

横断歩道を渡る前には、①車の方を見て、右手を挙げて、車が止まってくれることを待ちます。車が止まってくれたことを確認したら、まっすぐ右手をあげたまま、「みぎ・ひだり・みぎ」をみて、安全を確認して渡ります。

ふみきりをわたるときの、べんきょうもしました。

ふみきりを通る時は、手を上げる必要はありません。(左右の確認は必要です)

ここは電車が通る踏切です。遮断機が上がっても、「みぎ・

ひだり・みぎ」を見て、そして、「電車が来ていないか、音をよく聞いて」渡りましょう。

【雨の日の横断歩道、手をあげて渡るのは？】

雨の日は、傘を手に持つので、「手を挙げなくていい」そうです。ただし、しっかり、自分の目で、「みぎ・ひだり・みぎ」をみて、車が来ていないことを確認して、渡りましょう！！

ここが、スタート！
まずは、ストップマークで止まって・・・、「みぎ・ひだり、もう一度、みぎをみて」確認します。

狭い道は、広がって歩かず、一列に並んで歩きましょう。

【交通指導の方からの助言】

①横断歩道を渡るために待つ時は、少し(1歩くらい)後ろで下がって、待ちましょう。

※ 練習の時に、横断歩道ギリギリで待つ子が多かったです。車との接触を避けるために、横断歩道から後ろに下がって待つことは大切です。

②1年生になる前に、何度もお家の大人の人と通学路を歩いてみて、交通ルール等の確認をしましょう！

【参考にされてみてください！！】

「傘やレインコート、どれが一番見えやすいと思う？」と質問がありました。

明るい色の方が、見えやすいですね！子どもたちの姿が、車からわかりやすいことが、子どもの安全にもつながります。



これから、傘や長靴などご準備される方は、ぜひ参考にされて下さい。

最後に「交通指導修了証(カード)」等をいただきました。まもるんだから、小学校になっても頑張れるように、目をつぶって…「パクパクの儀式」をしてもらいました(笑) みんな、嬉しそうでした★

